

7 調査時点における親等の就業状況

(1) 親等の就業状況

母子世帯の母の 83.0 %が就業しており、このうち「臨時・パート」が 49.0 %と最も多く、次いで「常用雇用者」が 39.2 %となっている。また、前回調査と比べて「常用雇用者」の割合が 11.5 %低下し、「臨時・パート」が 10.7 %増加している。

父子世帯の父の 91.2 %が就業しており、このうち「常用雇用者」は 75.9 %となっている。

母子世帯と比較すると父子世帯の父の「常用雇用者」の割合が高い。

寡婦は 68.1 %が就業しており、前回調査よりその割合が 1.4 %増加している。

前回調査と比較すると「不就業」と答えた者の割合は、母子世帯、父子世帯とも増加している。

表7-(1)-1 母の就業状況

区分	総数	就業している	従業上の地位						不就業
			事業主	常用雇用者	臨時・パート	派遣社員	家族従業者	その他	
平成10年	(100.0)	( 84.9)							( 13.6)
		(100.0)	( 5.7)	( 50.7)	( 38.3)	( *)	( *)	( 5.3)	
平成15年 総数	千世帯 1,225.4 (100.0)	1,017.3 (83.0) (100.0)	43.2	398.5	498.1	45.0	15.0	17.6	204.5 ( 16.7)
			( 4.2)	( 39.2)	( 49.0)	( 4.4)	( 1.5)	( 1.7)	
死別	千世帯 147.2 (100.0)	109.3 (74.3) (100.0)	7.1	34.4	58.2	2.6	3.5	3.5	37.9 ( 25.7)
			( 6.5)	( 31.5)	( 53.2)	( 2.4)	( 3.2)	( 3.2)	
生別	千世帯 1,076.4 (100.0)	907.1 (84.3) (100.0)	36.1	363.2	439.9	42.3	11.5	14.1	165.7 ( 15.4)
			( 4.0)	( 40.0)	( 48.5)	( 4.7)	( 1.3)	( 1.6)	

表7-(1)-2 父の就業状況

区分	総数	就業している	従業上の地位						不就業
			事業主	常用雇用者	臨時・パート	派遣社員	家族従業者	その他	
平成10年	(100.0)	( 89.4)							( 7.8)
		(100.0)	( 13.7)	( 75.3)	( 6.9)	( *)	( *)	( 4.1)	
平成15年	千世帯 173.8 (100.0)	158.5 (91.2) (100.0)	23.9	120.3	2.9	2.9	5.7	2.9	14.3 ( 8.2)
			( 15.1)	( 75.9)	( 1.8)	( 1.8)	( 3.6)	( 1.8)	

表7-(1)-3 寡婦の就業状況

区分	総数	就業している	従業上の地位						不就業
			事業主	常用雇用者	臨時・パート	派遣社員	家族従業者	その他	
平成10年	(100.0)	( 66.7) (100.0)	( 13.9)	( 42.6)	( 33.9)	( * )	( * )	( 9.6)	( 27.7)
平成15年 千世帯	1,081.9 (100.0)	736.7 (68.1) (100.0)	113.0 ( 15.3)	264.3 ( 35.9)	294.5 ( 40.0)	9.8 ( 1.3)	13.3 ( 1.8)	41.8 ( 5.7)	327.4 ( 30.3)

(2) 仕事の内容の構成割合

就業している母のうち「臨時・パート」の仕事の内容は、「サービス職業」が 32.7 %と最も多く、次いで「販売」が 18.4 %となっている。

就業している父のうち「常用雇用者」の仕事の内容は、「技能工・生産工程及び労務」が 27.8 %と最も多く、次いで「専門的・技術的職業」が 19.8 %となっている。

表7-(2)-1 就業している母の地位別仕事内容の構成割合

	総数	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能工・生産工程及び労務	保安職業	サービス職業	その他
平成15年 総数	千世帯 1,017.3 (100.0)	( 15.4)	( 0.5)	( 24.3)	( 14.6)	( 0.5)	( 1.4)	( 11.9)	( 0.3)	( 23.7)	( 7.3)
常用雇用者	398.5 (100.0)	( 26.3)	( 0.4)	( 33.8)	( 10.4)	( 0.2)	( 2.2)	( 7.7)	( 0.4)	( 14.4)	( 4.0)
臨時・パート	498.1 (100.0)	( 8.0)	( - )	( 17.2)	( 18.4)	( 0.5)	( 0.9)	( 15.0)	( 0.2)	( 32.7)	( 7.1)

(注)・総数は不詳を除いた値である。

・「サービス職業」とは、家政婦、ホームヘルパー、理美容師、調理人、ウェイトレス、介護職員等種々のサービスを提供する職業をいう。

「サービス職業」の用語の定義は以下同じ。

表7-(2)-2 就業している父の地位別仕事内容の構成割合

	総数	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能工・生産工程及び労務	保安職業	サービス職業	その他
平成15年 総数	千世帯 158.5 (100.0)	( 18.7)	( 8.4)	( 9.0)	( 4.8)	( 3.6)	( 14.5)	( 22.3)	( 1.8)	( 4.8)	( 12.0)
常用雇用者	120.3 (100.0)	( 19.8)	( 9.5)	( 11.9)	( 5.6)	( - )	( 14.3)	( 27.8)	( 2.4)	( 4.8)	( 4.0)

(注)総数は不詳を除いた値である。

(3) 未子の年齢階級の構成割合

就業している母のうち「臨時・パート」の未子の年齢階級では、「9～11歳」が18.1%と最も多くなっている。

就業している父のうち「常用雇用者」の未子の年齢階級では、「15～17歳」が18.4%と最も多くなっている。

表7-(3)-1 就業している母の地位別未子の年齢階級の構成割合

	総数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳
平成10年	(100.0)	( 7.8)	( 11.8)	( 15.5)	( 14.7)	( 18.2)	( 20.2)	( 11.8)
平成15年 総数	995.3 (100.0)	67.9 ( 6.8)	144.6 ( 14.5)	166.6 ( 16.7)	181.6 ( 18.2)	173.7 ( 17.4)	178.1 ( 17.9)	82.9 ( 8.3)
常用雇用者	393.2 (100.0)	15.9 ( 4.0)	45.0 ( 11.4)	61.7 ( 15.7)	66.1 ( 16.8)	74.9 ( 19.0)	86.4 ( 22.0)	43.2 ( 11.0)
臨時・パート	488.4 (100.0)	48.5 ( 9.9)	85.5 ( 17.5)	87.3 ( 17.9)	88.2 ( 18.1)	78.5 ( 16.1)	67.9 ( 13.9)	32.6 ( 6.7)

(注) 総数は不詳を除いた値である。

表7-(3)-2 就業している父の地位別未子の年齢階級の構成割合

	総数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳
平成10年	(100.0)	( 0.5)	( 6.1)	( 11.7)	( 15.4)	( 23.8)	( 24.8)	( 17.8)
平成15年 総数	156.6 (100.0)	1.0 ( 0.6)	17.2 ( 11.0)	24.8 ( 15.9)	26.7 ( 17.1)	31.5 ( 20.1)	29.6 ( 18.9)	25.8 ( 16.5)
常用雇用者	119.4 (100.0)	1.0 ( 0.8)	15.3 ( 12.8)	21.0 ( 17.6)	21.0 ( 17.6)	20.1 ( 16.8)	22.0 ( 18.4)	19.1 ( 16.0)

(注) 総数は不詳を除いた値である。